



「雪深き國のまほろば・・・」

(本校校歌より)

校長 中川 秀樹

滝川高校のホームページにアクセスいただきありがとうございます。

滝川高校は、石狩川と空知川の恵みによる豊かな大地の広がる北空知の中核校として、昭和4（西暦1929）年に北海道滝川高等女学校として開校し、今年で89年目を迎える伝統校であり、定時制課程は昭和23年に設置されました。その後、昭和25年には高等学校再編により北海道滝川東高等学校となり、昭和29年に現在の校名である北海道滝川高等学校と校名を変更、昭和44年には全日制課程に理数科を設置するなど、幾多の変遷を経て今日に至っています。卒業生は全日制・定時制(1652名)あわせ24444名にのぼり、同窓生には地域の政治、経済、行政におけるリーダーも多く、道内・道外はもとより広く海外でも活躍しております。本校は開校以来、「高い志をもち、自己を創造し、真理を追究する心と未来を拓く力を育む」を教育目標に掲げ、教職員が一丸となって創意工夫あふれる教育活動に取り組んで参りました。そして、現在も地域の方々にとって「憧れの学校」、「自慢の学校」、「生涯学習の拠点」となるべく、教育の質の向上に努め、高い学力の確保・向上、進路第一希望実現、生涯学習体系に基づく勤労青少年の育成に向けて、全日制課程普通科（各学年5学級）、全日制課程理数科（各学年1学級）、定時制課程普通科（各学年1学級）が密接に連携を持って教育活動を推進しております。

定時制課程では、生徒の自己有用感や豊かな心の育成、生徒のわかる喜び、学ぶ楽しさを大切にした教育活動を進めています。

学習面ではゆとりと充実した学びの機会を提供しており、授業前・放課後の個別指導による生徒の基礎学力の定着、学力向上講座における資格・検定へのチャレンジによる意欲的学習心の醸成、さらに、定通併修3修制（3年間の就学で卒業単位を修得できる制度）も行っています。また特別活動では、学校祭や体育大会などの生徒会の活動、定体連や高文連の活動もあり、特に演劇部は全日制の生徒も参加する大会において全道大会への進出を果たすなど活発な活動と成果が見られています。ボランティア活動でも「旗の波運動」など地域と連携した活動に積極的取り組み、自己有用感と豊かな心の育成を図っています。これらの「知・徳・体」のバランスのとれた特色ある取り組みにより、生徒の意欲的な活動がみられ、全道からも高い評価をいただいています。

一方、全日制課程では、平成25年度からは指定を受けている「文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業（SSH）」や土曜日授業の実施など、地域の進学校として、様々な授業改善や実践研究、特色ある進学指導体制の構築等の教育活動を推進し、確かな学力の定着と共に顕著な進学実績を達成するなどの大きな成果を上げてきました。

これからも北空知の伝統校として、また、生涯学習の拠点として、地域の期待を誠実に受け止め、生徒が自信と誇りを持って生活できる学校づくり、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めます。

今後とも変わらぬご支援、ご指導をお願い申し上げます。